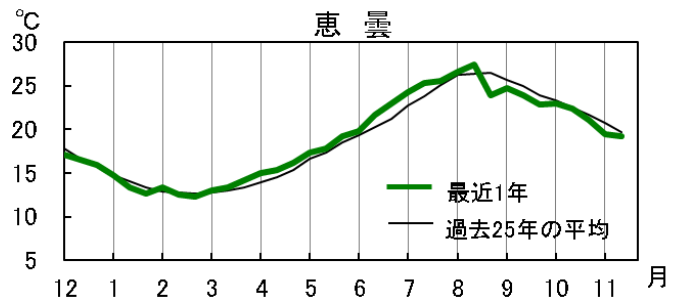
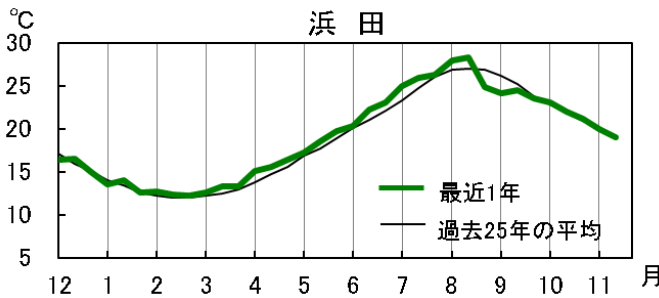




《10～11月の海況》

10月	月平均	平年差	評価
浜田	22.0℃	+0.1℃	平年並み
恵曇	22.1℃	-0.3℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田地区では、10月上・中・下旬は「平年並み」となり、11月に入り上旬時点で「平年並み」で経過しています。恵曇地区では、10月上・中旬は「平年並み」、下旬は「やや低め」となり11月に入り上旬時点で「かなり低め」で経過しています。



《10月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は16.6トンで平年並みとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は223トンで平年の3.5倍、マアジは54トンで平年の4割となりました。隠岐地区ではサバ類、マアジ、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は78.9トンで平年並みとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は3,982トンで平年の5.2倍、マアジは2,794トンで平年並みとなりましたが、マイワシは1,175トンで平年の3割となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の97%)主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は131kgで平年を下回りました。一方、西郷地区(属人5トン以上)ではケンサキイカ(全体の99%)が主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は42kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ムシガレイ、アナゴ・ハモ類を主体に、1統1航海当たりの漁獲量は11.0トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、キダイは平年の1.5倍、ムシガレイは平年の6割、アナゴ類は平年の1.2倍の水揚げでした。その他、アカムツは平年の2.3倍、ソウハチは平年の1.6倍、アマダイは平年の3.3倍の水揚げだった一方、ケンサキイカは平年の4割、スルメイカは平年の6割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アンコウ、マダラ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は813kgで平年並みの水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ソウハチは平年の2.0倍、アンコウは平年の1.4倍、マダラは平年の1.3倍でした。その他、アナゴ・ハモ類は平年並み、ヤリイカは平年の1.6倍、キダイ・ニギスはそれぞれ平年の7割、アカムツは平年の8割、ムシガレイは平年並み、ヤナギムシガレイは平年の2.4倍の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、ブリ、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は39.2トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は全体の漁獲量5割を占め平年の5.5倍、ブリは平年の9割、マアジは平年の7割の漁獲量でした。石見地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は54.4トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は全体の漁獲量の5割を占め、平年の8.4倍、マアジは平年の1.6倍の漁獲量でした。隠岐地区ではサバ類、ブリ、マイワシ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は39.1トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は全体の漁獲量の4割を占め平年の4.7倍、ブリは平年の9割、マイワシは4.8倍の漁獲量でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は24kgで平年並みでした。石見地区ではケンサキイカ、ヒラメ、ヒラマサが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は23kgで平年並みでした。隠岐地区ではソデイカ、クロマグロ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は25kgで平年並みでした。

【平成 28 年 10 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	315 トン	156%	93%	16.6 トン	165%	121%	○
	隠岐	サバ類、マアジ、マイワシ	9,394 トン	94%	73%	78.9 トン	104%	86%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	28 トン	10%	12%	131kg	25%	39%	▲
	西郷	ケンサキイカ	6 トン	216%	24%	42kg	64%	18%	▲
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ムシガレイ、アナゴ類	320 トン	98%	88%	11.0 トン	81%	80%	○
小型底びき 網	大田	ソウハチ、アンコウ、マダラ	496 トン	125%	97%	813kg	98%	99%	○
定置網 (大型)	出雲	サバ類、ブリ、マアジ	509 トン	195%	120%	39.2 トン	195%	116%	○
	石見	サバ類、マアジ	217 トン	325%	225%	54.4 トン	325%	278%	◎
	隠岐	サバ類、ブリ、マイワシ	117 トン	489%	138%	39.1 トン	489%	138%	◎
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、ブリ	41 トン	87%	67%	24kg	100%	89%	○
	石見	ケンサキイカ、ヒラメ、ヒラマサ	43 トン	99%	71%	23kg	92%	86%	○
	隠岐	ソデイカ、クロマグロ、メダイ	33 トン	138%	51%	25kg	180%	84%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

【ケンサキイカ情報】

今月号は島根県のみでのケンサキイカ（地方名：マイカ、シロイカ）情報を掲載いたします。

I：10月のイカ釣り漁況

浜田漁港データ（5t未満船）を利用しています。折れ線グラフはCPUE（1日の1隻当りの漁獲量 kg）、円グラフは銘柄割合を示しています。

